

外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議における 主な検討事項

1. 指導内容の深化・充実

- ・ 外国人児童生徒等の資質・能力を育成するための指導の在り方
(母語の力の活用、子供の持つ多様性を「長所・強み」として生かす視点、
障害のある子供への対応を含む)
- ・ すべての教師や支援員等が子供たちに質の高い学びを提供できるように
するための方策(指導のガイドライン、デジタル技術の活用、教材の効果的
な活用を含む)

2. 指導体制の確保・充実

- ・ 指導体制の在り方(集住地域・散在地域における支援の在り方、校内体制
の整備を含む)
- ・ 日本語指導担当教師の配置やキャリアパス
- ・ 日本語指導補助者(登録日本語教員を含む)や母語支援員との連携
- ・ 関係機関(支援団体、大学、企業等)との連携

3. 日本語指導担当教師等の指導力の向上

- ・ 管理職・日本語指導担当教師・在籍学級担任や日本語指導補助者等の
資質能力向上のための方策(日本語指導担当教師等の養成・採用・研修
の在り方や登録日本語教員の活用に向けた方策を含む)

4. 外国人児童生徒等の就学・進学・就職機会の確保

- ・ 就学促進のための方策の在り方(プレスクール等の取組の推進)
- ・ 外国人生徒の進学・就職の促進方策(企業と連携したキャリア教育やキャ
リア支援、保護者への対応を含む)